

とみた武彦の一般質問

11月定例会 (12月7日)

卒業証書の印鑑電子化

Q 卒業証書への押印を手作業ではなく、印刷等で行うと業務負荷が軽減され、働き方改革につながる。府内の公立小中高等学校等において、卒業証書の公印を印刷している学校の割合は？

A 府内の公立小中高等学校の約9割が卒業証書の公印を印刷しており、各校で業務軽減を図っている。

学校給食費の公会計化

Q 給食費の公会計化が進まない理由は？国や府からの補助金など財政支援はあるか？

A 公会計化には、システム導入費や人員の措置が必要。加えて、給食費以外にも徴収する費用があるため、給食費の公会計化だけでは教員の大きな負担緩和とならないとの意見もある。府としては、補助制度の創設と財源の確保を国に対して要望している。

要望 本来なら、公会計化を推進している国による補助があるべきと考えるが、国でないのなら府が補助を実施していただきたい。また、複数の自治体で共同利用できる自治体クラウドの構築など、システム導入費用の軽減を検討いただきたい。

不登校の子どもに対する対応

Q 不登校の子どもには、学校以外にフリースクールなどの多様な学びの場が必要。しかし、フリースクールは経済的な負担が大きいという保護者の声もある。府が支援を行うべきと考えるが如何。

A フリースクール等の教育理念や方針は様々であり、規模、学習活動、教育内容等も多岐に渡っているため、その支援については、整理すべき課題が多い。今後、フリースクール等との連携・活用を含め、不登校に対する総合的な施策について検討してまいります。

行政と教員間の人事交流について



Q 令和3年度、精神疾患による教員の病気休職者数は過去最多であった。学校現場に適応できずメンタル不調に陥った教員には、たとえば、学校以外の環境で働くことも選択できるようにする等、行政職と教育職の垣根を越えて限りある人材の有効活用を図っていくべき。学校現場の教員が知事部局で働いている実例、教員のメンタルヘルス対策について伺う。

A 府教育委員会では、教員の中から「指導主事」を任用し、教育庁に配置。また、メンタル不調に陥った教員に対して、「職場復帰支援事業」を実施、「大阪メンタルヘルス総合センター」でも相談や支援事業を行っており、教員の円滑な職場復帰とこころのケアに努めている。

要望 教員としては能力が十分に発揮できていなくても、採用試験に合格した優秀な人材である。将来的には、大阪府内の行政職と教育職の垣根を越えて、事務業務に関する人材間交流ができる仕組みを考えてほしい。

万博工事の施工環境の改善について

Q 施工環境の改善について、大阪府・市の取組みが9月27日にVer.1、11月2日にVer.2が取りまとめられ公表された。Ver.2で更新・追加された取組み等、この間の主な動きについて伺う。

A 主な追加点は、「夢洲内の市有地を活用したバックヤードの確保」「万博工事の終盤における工事車両の集中への対応」。このほか、博覧会協会では、工事終盤にかけて円滑に工事を進めていくため、各施設ごとの工程を統合した全体のマスタースケジュールを作成し、工事関係者に提供するとされている。

要望 今後、2024年問題もある中、作業員が働きやすい労働環境を整えていく必要がある。工種に応じて、現場近くで寝泊りできる環境も必要になってくるのではないかと見据えた準備、改善を検討いただきたい。

物価高騰支援の補正予算案 62億円 を可決！ 府議会11月定例会 (12月12日)

エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けた事業者への支援に緊急に必要な経費を追加

福祉施設、医療機関、私立学校等への支援 (53億円)

トラック運送事業者への支援 (6億1,600万円)

畜産農家への支援 (3,500万円)

公共交通事業者への支援 (2億円)

11月30日 2025大阪・関西万博 開幕まで500日

ワクワクしながら カウントダウン



「大阪来てな！万博開催500日前イベント」が開催

大阪・関西万博アンバサダーのコブクロによるスペシャルパフォーマンスやアパニギャルディによるオープニングパフォーマンスのほか、大阪来てな大使に就任した歌舞伎俳優 片岡愛之助さんによるトークセッションなど、この日限りの特別プログラムが披露されました。



主催：大阪来てなキャンペーン実行委員会 (構成団体：大阪府、大阪市、公益財団法人大阪観光局) 場所：NHK大阪ホール

2025大阪・関西万博 大阪パビリオン

建設工事順調に進捗

令和6年10月末完成へ

2025年大阪・関西万博で大阪府・市と経済団体が出展する地元館「大阪ヘルスケアパビリオン (大阪パビリオン)」の建設工事が順調に進んでいます。建物の鉄骨工事がほぼ完了し、令和6年10月末の完成を目指し、外壁工事などが始まっています。

大阪パビリオンは、「REBORN」(リボーン)をテーマに、未来の食や文化、ヘルスケアなどをバーチャルと現実の両方から体験できるとのこと。2050年ごろのミライの都市生活をイメージした展示が行われますが、その展示や運営費は主に協賛金・寄付金を充てる予定です。



提供：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会



くるぞ、万博。 前売チケット 販売中!!

2025大阪・関西万博

開催期間 2025年 4月13日 - 10月13日

くわしくはこちら